

戀の凱歌

ヴァイオリニスト 椿 太陽

猛暑が続いた夏も終わり、今年も秋の季節がやってきた。日が暮れる時間が早くなり涼しい風に頬を撫でられると、ちよっぴり寂しい気分になる。

そんな気持ちを紛らわすためのなか、芸術の秋、食欲の秋、読書の秋：などと言った言葉がたくさんある。五感を研ぎ澄ますのに最も適した季節なのかもしれない。



今年も様々な本を読んでいるが、今私の手元にひとつの本がある。『戀の凱歌』というツルゲーネフの短編小説だ。簡単にあらすじを紹介しよう。

ファービィとムウチイという二人の青年がいた。二人は親友の仲だった。どちらも容姿端麗で街の人気者であった。そんな二人が同時に一人の女性ワレリヤに恋をする。ワレリヤはファービィと結婚し、ムウチイは旅に出てしまう。数年後ムウチイは旅から戻り三人は再会する。ムウチイは奇術を身につけていた。そして奇妙な出来事が続くのである。ムウチイはワレリヤを操り誘惑する。そしてファービィは怒りに狂い親友ムウチイを刺し殺してしまう。ムウチイを憎むと同時に、親友を殺してしまった自分を責めるファービィ。そして：と或る美しい秋の日に、ワレリヤは新しく芽生えた生命の鼓動を心の内に感じた。ひよっとしたらこの子は：!?

友情、嫉妬、恋：人間のあらゆる感情を見事に描いた小説だ。



そしてこの小説に惚れ込んだ作曲家がフランスのパリにいた。エルネスト・ショーンである。ショーンはこの『戀の凱歌』に基づく交響詩の作曲に取りかかる。最終的に、ヴァイオリンと管弦楽のための『詩曲』として完成した。

私が『詩曲』と出逢ったのは中学生のとき。とあるリサイタルで『詩曲』を聴き、一瞬でこの曲に惚れ込んでしまった。



さて、11月に長年共演させていただいているソプラノの齋藤恵理さんと横浜でリサイタルを開催する。齋藤さんとのリサイタルは随分と前から年に一度毎年行っている。

ヴァイオリンのソロ、ソプラノの独唱、ヴァイオリンとソプラノのデュオと、盛り沢山のプログラム。トークをしながら、普段クラシックを聴かない方でも楽しめるコンサートをコンセプトにしている。

毎回リサイタルのテーマを決めているのだが、今回のテーマは『パッション』。情熱溢れる楽曲をお届けする。

ヴァイオリンのソロは、前述したショーンの詩曲、サン＝サーンスのヴァイオリン協奏曲第三番を。ソプラノとのデュオは、ビゼーのカルメン、レハールのメリー・ウィドウなどを演奏する。

演奏は勿論、齋藤さんの楽しいトークも必見である!!



ソプラノ ヴァイオリン
齋藤恵理 & 椿太陽
デュオ・リサイタル vol.5

2018/11/11(日) 14:00開演(13:30開場)
横浜市鶴見区民文化センター サルビアホール 3F音楽ホール
チケット：全自由席 前売 3,000円 当日 3,500円

ヴァイオリン協奏曲 第3番
作曲「羅丹夫人」より「ある晴れた日に」
作曲 蕭邦
「ガイー・ウィドウ」より「たかなるしらべ」
作曲 シューマン

サン＝サーンス
ブッシーニ
ショーン
レハール
作曲

東京国際芸術協会 03-6806-7108 <https://ttaa-jp.com>
東京国際音楽学校 03-3822-7412
主催 一般社団法人 東京国際芸術協会 / 東京国際音楽学校 / Green
後援 横浜市 文化振興課 / 鶴見区 文化振興課 / Green

齋藤恵理 & 椿太陽 デュオ・リサイタル vol.5

チケット
好評発売中

日時：2018年11月11日(日) 14:00開演(13:30開場)
会場：横浜市鶴見区民文化センター サルビアホール 3F音楽ホール
料金：全自由席 前売 3,000円 当日 3,500円
出演：ソプラノ：齋藤恵理 ヴァイオリン：椿太陽
ピアノ：蔵愛美

曲目：サン＝サーンス：ヴァイオリン協奏曲 第3番
ブッシーニ：歌劇「蝶々夫人」より「ある晴れた日に」
ショーン：詩曲 シューマン：蓮の花 レハール：「メリー・ウィドウ」より「たかなるしらべ」他

チケットご予約・お問合せ：

一般社団法人 東京国際芸術協会

☎ 03-6806-7108 FAX 03-3806-8555

<http://www.ttaa-jp.com>

椿太陽公式サイト →

<http://taiyotsubaki.com>

